

京兆ケイチョウの韋參軍イサンくんが東陽トウヤウに量移リョウイせらるるを見る。李リ 白ハク

潮水チョウスイ還カエつて海ウミに歸キし
流人リョウジン卻カエつて吳ジに到いたる

相逢アイオうて愁しゅう苦くを問とえば
涙なみだは尽つく日にち南なんの珠たま

【作者】李白(七〇一〜七六二年)・中国の盛唐の時代の詩人である。字は太白(たいはく)。号は青蓮居士。唐代のみならず中国詩歌史上において、

同時代の杜甫とともに最高の存在とされる。奔放で変幻自在な詩風から、後世『詩仙』と称される。

【語釈】*京兆：京兆府(長安、現在の西安)。*韋參軍：韋は姓。人物は不明。參軍は官名。軍事參議官。

*東陽：今の浙江省金華県。*量移：罪のために辺地に左遷されていた役人が、情状を酌量されて近い所に転任させられること。

*潮水：海水。うしお。*還：「還めぐりて」、「還かえつて」*流人：流刑に処せられた罪人。ここでは韋氏を指す。

*吳：今の江蘇省のうち長江以南の地を中心とする一帯。*愁苦：配所での愁いや苦しみ。*盡：尽(ことごとく)とも読む。

*日南：安南。現在のベトナムの首都ハノイの南。*珠：真珠。